

一般社団法人未来研究所臥龍
設立4周年記念 公開パネルディスカッション

中小病院の未来



2024.7/29 (月)
14:00~17:00
(開場13:00)

参加費無料

全国社会福祉協議会本部第1・2会議室 + Zoom配信
(東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル5階)

開会挨拶

弊研究所代表理事 香取照幸

基調講演

大石 佳能子氏 株式会社メディヴァ 代表取締役社長

パネルディスカッション(質疑応答含む)

パネリスト

石田 岳史氏 東京医科歯科大学総合診療科 教授
大杉 泰弘氏 藤田医科大学総合診療科講座 准教授
村上 典由氏 株式会社メディヴァ コンサルティング事業部
シニアマネージャー
安井 佑氏 TEAM BLUE 代表/医療法人社団焔 理事長

司会

弊研究所理事 高瀬義昌

閉会挨拶

弊研究所理事 黒木春郎

お申込み

会員の方は、案内メールの要領に従ってお申込みください。

※締切

2024.7/22 (月)

会員以外の方は、下記URLまたは右の2次元コードより
申込みフォームにアクセスしてお申込みください。

<https://forms.gle/vMLYEJvCQyzsgkYRA>



※会場参加は人数に限りがありますので、会場参加をご希望の場合でも、オンラインでの参加をお願いすることがあります。

お問い合わせ 一般社団法人未来研究所臥龍 事務局 admin@garyu.or.jp

ホームページ <http://www.garyu.or.jp/message.html>

ご入会案内 <http://www.garyu.or.jp/admission.html>



一般社団法人未来研究所臥龍 設立4周年記念 公開パネルディスカッション

〈演者・パネリスト・司会 プロフィール〉



■ 大石佳能子氏

株式会社メディヴァ代表取締役社長 株式会社シーズワン代表取締役社長 医療法人社団プラタナス総事務長、一般社団法人コミュニティ&コミュニティホスピタル協会理事 Medical Excellence Japan 副理事長
大阪大学法学部卒、ハーバード・ビジネス・スクールMBA マッキンゼー・アンド・カンパニーのパートナーを経て、起業。医療・介護、健保組合・健康経営、企業・行政のコンサルティング、ヘルスケアサービスの開発、病院診療所の運営、海外での医療・介護事業展開を手掛ける。(株)資生堂、江崎グリコ(株)等の非常勤取締役 規制改革推進会議(医療・介護ワーキング・グループ元座長、専門委員) 2050経済社会構造部会、厚生労働省「これからの医業経営の在り方に関する検討会」の他、経済産業省、内閣府、内閣官房等政府の有識者会合の委員を歴任 ハーバード・ビジネス・スクールのアジア諮問委員 著書に「100のチャートで見る人生100年時代」、「在宅医療・地域包括ケア・ファクトブック」、共著に「診療所経営の教科書」、「病院経営の教科書」等



■ 石田岳史氏

東京医科歯科大学総合診療科教授。自治医科大学卒業後、兵庫県でへき地医療を実践。阪神淡路大震災に遭遇し、本邦初のトリアージを行った。自治医科大学循環器内科助教を経て、2007年神戸大学大学院へき地医療学講座准教授に就任し、地域医療構想の先駆けとなる公立病院再編に関与する。2025年問題に関心を抱き、さいたま市民医療センターの設計から参画し、救急総合診療を中心とした急性期病院にて14年間陣頭指揮を執る。現在は2040年問題への医療のあり方に関心を寄せる。厚生労働省委託事業「医療従事者勤務環境改善のための助言及び調査業務」委員。総合診療専門医、総合内科専門医、循環器専門医、心臓リハビリテーション認定医、日本心臓リハビリテーション学会理事。



■ 大杉泰弘氏

藤田保健衛生大学(現藤田医科大学)医学部2004年卒。飯塚病院総合診療科および顕田病院総合診療科に9年間勤務ののち、2018年にスタートした総合診療専門医制度に先んじて、藤田医科大学総合診療プログラムを2015年に3名の専攻医(専門研修を行う医師)とともにスタート。同時に豊田地域医療センター(150床)の総合診療医を中心としたコミュニティホスピタルへの変革を開始した。「教育の力で医師を育て、地域そして世界を変革する」の理念のもと、指導医が集い・総合診療の教育制度教育環境が整い・病院が増え、多くの患者さんを診ることを可能にした。また、中小病院の新しい価値であるコミュニティホスピタルを増やし広げていくことに取り組んでいる。



■ 村上典由氏

甲南大学経営学部卒業、広告代理店に勤務し、不動産会社、商社、飲食店運営会社などの事業会社の経営に参画し、事業立上げ・経営再建・清算業務を経験する。2009年にヘルスケアコンサルティング会社の(株)メディヴァに参画し、かかりつけ医療機関として在宅医療患者3000名をみる医療法人社団プラタナスの桜新町アーバンクリニック事務長を務めるとともに、全国の在宅医療を行う医療機関や自治体の地域包括ケアシステム構築のコンサルティングを手掛ける。2022年から一般社団法人コミュニティ&コミュニティホスピタル協会の活動として、全国にコミュニティホスピタルを展開する「コミュニティホスピタル構想」実現のために東京都台東区の同善病院などの中小病院の支援を行っている。著書に「在宅医療経営・実践テキスト(共著)」等



■ 安井佑氏

TEAM BLUE代表。医療法人社団焔 理事長。
東京大学医学部卒業。初期研修後にマンマでの海外医療ボランティアに従事。杏林大学医学部付属病院形成外科、東京西徳洲会病院形成外科を経て「自宅で自分らしく死ぬ、そういう世の中をつくる。」の実現を目指し、2013年に在宅医療専門の「やまと診療所」を設立。その後、グループ全体をTEAM BLUEと称し「おうちでよかった。訪看」「ごはながたべたい。歯科」の訪問看護と訪問歯科を開始。2021年に在宅医療から着想を得て、120床の地域包括ケア病棟「おうちにかえろう。病院」を設立。



■ 高瀬義昌(司会)

信州大学医学部卒業。東京医科大学大学院修了、医学博士。昭和大学客員教授。麻酔科、小児科を経て、以来包括的医療・日本風の家医学・家族療法を模索し、2004年東京都大田区に在宅を中心とした「たかせクリニック」を開業する。現在、在宅医療における高齢者医療、認知症のスペシャリストとして厚生労働省の高齢者医薬品適正使用事業や地域包括ケア、介護関連事業の委員も務め、在宅医療の発展に日々邁進している。
日本老年精神医学会専門医、認知症サポート医、日本プライマリ・ケア連合学会認定医。
(一社)未来研究所臥龍理事、日本在宅医療連合学会評議員、日本老年薬学会評議員、昭和大学客員教授、東京都医師会 認知症サポート医連絡協議会副委員長、蒲田医師会理事、公益財団法人日米医学医療交流財団会長、特定非営利活動法人オレンジアクト 理事長、一般社団法人ITヘルスケア学会副代表等



お問い合わせ 一般社団法人未来研究所臥龍 事務局 admin@garyu.or.jp
ホームページ <http://www.garyu.or.jp/message.html>
ご入会案内 <http://www.garyu.or.jp/admission.html>